令和８年度小見川中学校の教育（グランドデザイン）

学校教育目標
未来を切り拓く力を身につけた思いやりのあるたくましい生徒の育成
～　文武両道の教育実践をとおして　～

めざす学校像
・明るい挨拶と歌声の響く学校
・文武両道で生徒を育てる学校
・保護者、地域から信頼される学校

めざす生徒像
・自ら学び　よく考える生徒
・明るく　思いやりのある生徒
・じょうぶで　たくましい生徒

学習指導の充実
○「知的好奇心」を呼び起こす授業の実践
・授業のねらいの明確化
・十分な教材研究
・発問の工夫
・積極的な授業相互参観
○ＩＣＴ教育
・全授業者による授業展開
・「思考ツール」としての活用
○道徳教育
・正しい判断力を身に付ける
・他を尊重する姿勢の育成
○キャリア教育
・社会を生き抜く力を身に付ける
・職業観の育成
○全国学力・学習状況調査の活用
・分析と課題の改善
・「活用力の育成」及び「記述式問題」への取組強化

誰もが幸せを感じる学校を目指す

自分の良さを見いだし伸ばすとともに、周りの人の意見を尊重する姿勢を育成することにより

生徒指導の充実
○重点事項
・あいさつ
・黙動清掃
・くつと自転車をそろえる
○不登校生徒の解消
・教育相談の充実
・初期対応の強化
・サポートルームの有効活用
・関係組織・機関との連携
○いじめへの適切な対応
・早期発見と積極的な認知
・適切な初期対応と正確な情報収集
・関係生徒への心に響く指導
・保護者への丁寧な説明
○多様性への対応
・特別支援教育など個に応じた対応の強化
・ＬＧＢＴＱへの対応

信頼される開かれた学校づくり
○教育活動について家庭との共通理解、協働・連携
○学校ホームページ・学年通信・学校公開等を活用しての情報発信
○コミュニティースクール・学校評価アンケート等をつうじての意見収集とそれに対しての説明責任を果たす
○保護者や地域住民の理解を得て、職員の働き方を推進する。